

【報告】

第17回 日本禁煙科学会 学術総会 in 札幌

【開催概要】

◆テーマ

きれいな空気を未来につなげる

◆開催日

開催日：2022年10月15日（土）・16日（日）

◆開催方法

WEB開催

◆会長

今野 美紀（札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授）

◆主催

日本禁煙科学会

◆主たるプログラム

会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、分科会、一般演題

【URL】

◆第17回 日本禁煙科学会 学術総会のページ

https://www.jascs.jp/scientific_conference/conf_index.php#area_17

◆第17回 日本禁煙科学会 学術総会 プログラム・抄録集

「禁煙科学」Vol.16(13), 2022.10

※「禁煙科学2022」のページからダウンロードして下さい。

https://www.jascs.jp/kinen_kagaku/kinen_kagaku_2022.html

【学術総会会長挨拶】

第17回日本禁煙科学会学術総会 in札幌 会長

今野美紀 札幌医科大学保健医療学部看護学科 教授

第17回日本禁煙科学会学術総会 in 札幌の運営を仰せつかり、2022年10月15日、16日に開催させていただきます。爽やかな秋の札幌に皆様をお迎えすることが適わず残念に思いますが、今回、新型コロナウイルス感染流行が収まらない為、完全WEB形式での運営にさせていただきます。

今回のテーマは「きれいな空気を未来につなげる」といたしました。私は、所属先の札幌医科大学で小児看護学を担当し、地域の小・中学校で喫煙防止授業に携わる機会を得ております。国民全体の喫煙率が下がりつつも、タバコの問題は予防から治療まで多くの課題を含み、様々な職種の方と連携し、子どもたちを含め、人々がタバコに曝されることがなく、清々しい環境の中で暮らせるよう英知を重ねることが大切であると考えております。先生方のそれぞれの分野で取り組まれている禁煙のエビデンスを持ち寄り、議論し、未来につながる、そのような機会になればと思います。

新型コロナウイルスとの共存の日々で、皆様におかれましてもご多忙で不自由な日常生活を過ごされてきたものと察します。感染罹患や移動の時間が気にならないWEB開催の利点を生かし、実りある学術集会になるよう運営させていただきます。また、ご参加いただいた皆様にお楽しみ頂ける企画も計画中ですので、多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

【学 会 賞】



第17回日本禁煙科学会学術総会 in 札幌 学会賞受賞者

岩 城 紀 男 NPO法人禁煙ねっと石川 名誉理事長／岩城内科医院

受賞理由：

石川県のみならず日本の禁煙界をリードし、2001年には第1回禁煙フォーラム石川を開催し、以後石川県臨床内科医会会長、日本臨床内科医会常任理事として積極的に禁煙推進の発信を続けた。さらに2009年には禁煙ねっと石川を立ち上げ、その活動を通じて受動喫煙防止や子どもたちの喫煙防止教育、禁煙支援者の育成など、多方面に大きく貢献した。

【略歴】

生年月日 1940年 7 月20日

学歴 1965年 金沢大学医学部卒業

1970年 同大学院第 2 内科博士課程修了

職歴 1971年 石川県立中央病院勤務

1976年 岩城内科医院開業

役員 1978年～1992年 金沢市医師会代議員、監事、理事、国保連合会審査委員、支払基金審査委員

1998年 石川県臨床内科医会会長

1999年 日本臨床内科医会常任理事（インフルエンザ研究班、禁煙部会結成）

学会 日本禁煙科学会、日本内科学会、日本老年病医学会、日本感染症学会

論文 2005年 Clinical Infectious Diseases (CID) 誌採用論文 3 本（共著）

2006年 インフルエンザ診療マニュアル発行（～2022年16版合計165.8万部）

2007年 インフルエンザ抗原迅速診断用鼻かみ鼻汁検体の診断学的有用性の確立 臨床と研究84： 1298-1302。2007

国際学会発表

The Second International Conference on Influenza Vaccines for the World
(2006.10 Vienna, Austria)

Option for the control of influenza VI (2007.6 Toronto)

Option for the control of influenza VII (2010.9 Hong Kong)

The 15th International Congress on Infectious Diseases (2012.6 Bangkok)

禁煙活動

2001年 第 1 回県民公開講座「禁煙フォーラム石川」開催（以降毎年開催継続中）

日本臨床内科医会医師禁煙宣言、禁煙外来指定医の育成

2006年 「日本禁煙科学会」設立参加（発起人、評議員）

2006年 第 1 回学術総会（京大）シンポジウム発表（ニコチン依存症管理料の課題）

2007年 第 2 回学術総会（奈良女子大）イヴニングセミナー（ニコチネルTTSの使用）

2009年 第 4 回学術総会主催（金沢市・会長岩城紀男）

2009年 特定非営利活動法人「禁煙ねット石川」設立（理事長）

その後の主な活動；

石川県下の病院、診療所敷地内禁煙、タクシー、公民館、スポーツ施設、主要道路、県、市議会 など官公庁の敷地内禁煙を推進。県下飲食店の受動喫煙対策実態調査と優良店の禁煙ねット石川 ホームページ公開、医師による児童・生徒の喫煙防止教育—中学、高校での喫煙対策、金沢市内児童禁煙ポスターコンクールの開催、展示（継続中）、金沢市校下別成人式時の禁煙アンケート調査 と医師による喫煙防止教育の成人時効果判定（継続中）

【日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞（畑中孝之賞）】

日本禁煙科学会 禁煙教育推進賞について

日本禁煙科学会は、2006年の発足当初から子どもたちをタバコの害から守るための教育の普及につとめてきましたが、2021年より日本の禁煙の一層の推進と今後の活動における協働に資することを目的として、禁煙教育の禁煙教育の領域において多大な功績をあげた個人または団体を顕彰ことと致しました。なお、本賞は副称を「畑中孝之賞」とします。

日本禁煙科学会HP「畑中孝之氏について」 ---下記URLよりご覧ください。

https://www.jascs.jp/topix/topix_202109/mr_hatanaka.html

◇第17回日本禁煙科学会学術総会 in 札幌 禁煙教育推進賞受賞団体

授賞団体：NPO法人禁煙ねット石川

代 表：遠藤 将光（NPO法人禁煙ねット石川 理事長）

受賞理由：

2009年の認証以来、受動喫煙防止と子ども達をタバコの害から守る活動を続け、学校に出向いての喫煙防止教育や児童による喫煙防止ポスター展など幅広い活動をおこなってきた。また、全国禁煙アドバイザー育成講習会や、宿泊業や飲食施設を対象にした受動喫煙対策の調査啓発を通じての社会教育にも貢献してきた。成人式で喫煙アンケート調査を実施し、小学校での喫煙防止教育が8年後の20才になった時点での喫煙率を低下させるのに有効であることを検証したことは、日本の禁煙教育の礎となる大きな成果である。

受賞に当たってのメッセージ：

NPO法人禁煙ねット石川 理事長 遠藤 将光

この度は、栄えある日本禁煙科学会禁煙教育推進賞を当NPO法人禁煙ねット石川に賜り、誠にありがとうございます。前学会で和歌山県から同賞受賞のご発表をお聞きし、畑中様のご功績や県全体の取り組みに驚くと共にある種の感動さえ覚えました。今回我々がこの賞をいただいたのは、ひとえに当法人の皆様のこれまでのご尽力と、高橋裕子理事長はじめ日本禁煙科学会の方々のご支援の賜物と存じております。

禁煙ねット石川は2009年5月に認証を受けたNPO法人で、会員は医師、薬剤師、看護師、保健師、大学関係者、県・市議等で、2022年4月現在54名、歴代市長には顧問に就任していただいております。法人の目的はタバコの害の知識普及や受動喫煙の防止、禁煙推進の普及、啓発ですが、とりわけ次世代を担う子ども達をタバコの害から守る事に力点を置き、初代理事長、岩城紀男先生を中心に有志の医師や薬剤師等が2000年頃から学校に出向き喫煙防止教育を行ってきました。また、2009年10月から隔年で「児童による喫煙防止ポスター展」を開催、子供達に教育後タバコのポスターを描いてもらい、年度末に全作品（250枚前後）を展示し優秀者を表彰、優秀作品は市役所やデパートに展示して来ました。さらに、この教育が8年後の20才になった時点で喫煙率を低下させるのに有効かを検証するため、2010年から成人式でアンケート調査を行って来ました。その結果2014年度からの3年間、統計学的な有意差を持って有効と判明したので英文誌に投稿しました。今回はこれらの禁煙教育に関する一連の活動をご評価いただいたものと思っています。

また、我々は前述したこどもの禁煙教育に関すること以外にも多くの活動・事業を行っております。

日本禁煙科学会学術総会には、京都での第一回から岩城紀男先生はじめ当法人の会員が参加し、2009年には金沢で第4回学術総会を岩城会長の下に開催しました。全国から600名近い方々にご参加いただき、日本で初めて受動喫煙

防止条例を制定した神奈川県知事の松沢成文氏に基調講演をお願いしました。その後も学術集会には毎年積極的に参加し、何度か優秀演題賞をいただいております。昨年は「成人式における小学校での喫煙防止教育の有効性の検討—英文誌掲載と新型タバコへの対策の必要性—」という演題名で、新型タバコが禁煙教育に与える影響について発表し受賞しました。

全国禁煙アドバイザー育成講習会を、日本禁煙学会と共催で2011年から開催してきました。講師は、禁煙学会理事長で、禁煙ねット石川理事でいらっしゃる高橋裕子先生に加え、学会ご推薦の著名な先生方をお招きするとともに、地元石川で禁煙支援に積極的に取り組んでいらっしゃる方々をお願いしてきました。コロナ禍の2020・21年は開催を見合わせましたが、3年ぶりとなる今年11月13日には金沢市の「石川県政記念しいのき迎賓館」で開催予定です。これまでに北陸はもちろん全国各地から禁煙支援に携わる皆様にお集まりいただき、今まで381名をお迎えできたことは、私達にとって大変喜ばしく、日本の禁煙支援者育成に微力ながら貢献させて頂けたのではないかと自負しております。

毎年5月末、世界禁煙デーに併せて石川県臨床内科医会の主催で開催されている「禁煙フォーラム石川」には、2006年以降講演や資料展示等で共催しています。最近はコロナでWeb開催が続いていますが、昨年は高橋先生にご講演いただきました。

2010年には石川県に「禁煙店舗拡大に関わる事業」を提案し2年間調査を行いました。県内のホテル、旅館、公共宿泊施設、民宿などの宿泊業約450件と飲食施設約3,500件を対象に、受動喫煙への対策の有無を調査しました。宿泊施設で受動喫煙対策を講じていたのは1割弱、飲食店では16%程でした。この結果をリーフレットにして各店に提供し、対策優良店を禁煙ねット石川のHPに掲載して紹介しました。

2016年には金沢市を対象に、「禁煙店舗認証」に係わる調査及び普及啓発事業として前回と同様の調査を行いました。

2018年に改正健康増進法が成立しましたが、法案審議中にこれを政治的に無力化しようとする動きが全国で活発になりました。このような活動に対し、県医師会と共に県選出の国会議員6名全員と個別に面談し、断固反対で有効な法案として成立するよう書面で要望を申入れました。

2019年7月に金沢市が管轄する28ヶ所、年間利用者約200万人の全てのスポーツ施設を敷地内禁煙としました。禁煙化の準備には当法人が支援し、関連職員全員に施設禁煙化の重要性を講演、以来職員は禁煙者に限りとなりました。講演会場には米大リーグで活躍した松井秀喜氏や元スポーツ長官鈴木大地氏等から頂いた禁煙のサインや児童の禁煙ポスター等を展示しました。これについては、副理事長の福田が大阪での学術総会で発表しました。

同年10月には「NPO創立10周年」として石川県医師会、石川県薬剤師会、石川県看護協会の後援をいただき県民公開講座を開催、当法人理事3名に加えて石川県健康福祉部健康推進課長相川広一氏に「石川県におけるタバコ対策について」と題してご講演いただきました。講演後遠路ご参加いただいた高橋先生に、シンポジウム「2020に向けて私達にできること」の座長の労をおとりいただき議論を深めた。併せて「10年のあゆみ」の題で当法人の略歴をリーフレットにまとめ、関係各位に配布しました。

以上、我々の紹介をさせて頂きましたが、詳細は「禁煙ねット石川」で検索するか、

HP; kinenisikawa.html.xdomain.jp/index.html

をご参照下さい。

参考文献

- 1) M Endo et al. Effects of School-based Smoking Prevention Education by Physician After Eight Years: A School Randomized Controlled Trial. J of Health and Environmental Research 2020; 6(4): 119-127. doi: 10.11648/j.jher.20200604.13